

**東通原子力発電所温排水影響調査**  
**(海洋生物調査：サケ)**  
**(要約)**

相坂 幸二

## 目 的

東北電力東通原子力発電所の温排水が、周辺海域のサケ漁業に与える影響を把握する。

## 材料と方法

### 1. 定置網水温観測

2014年9月～2015年1月に施設周辺海域の定置網に自記式水温計を設置して水温を観測した。

### 2. 漁獲動向調査

2014年漁期のサケ沿岸漁獲尾数を調べた。

### 3. 標本船調査

2014年9月～2015年1月に白糠漁業協同組合所属船4隻を標本船とし、日別のサケ入網状況を調べた。

### 4. 標識放流調査

表1のとおり、定置網で採捕したサケに船上で標識（ロガー+ディスクタグ15尾、ディスクタグ20尾）を装着し採捕した場所で放流した。

表1 標識放流結果

採捕日	採捕場所	尾数(尾)
2014年10月31日	老部地先	35
2014年11月21日	老部地先	35
2014年12月11日	小田野沢地先	35

## 結 果

### 1. 定置網水温観測

9月の水温は19.8℃～21.6℃（前年20.5℃～23.2℃）、10月は15.8℃～20.4℃（前年17.5℃～21.0℃）、11月は14.2℃～15.8℃（前年17.5℃～21.0℃）、12月は11.3℃～14.1℃（前年11.6℃～15.0℃）、1月は9.2℃～11.2℃（前年8.5℃～11.6℃）であった。

### 2. 漁獲動向調査

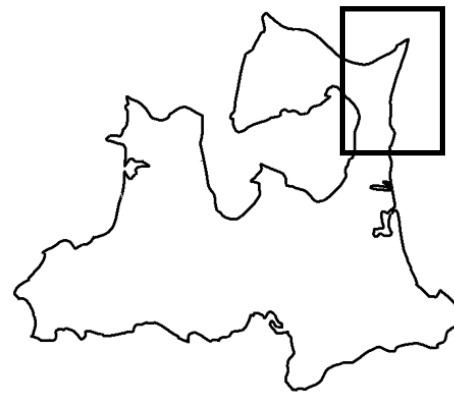
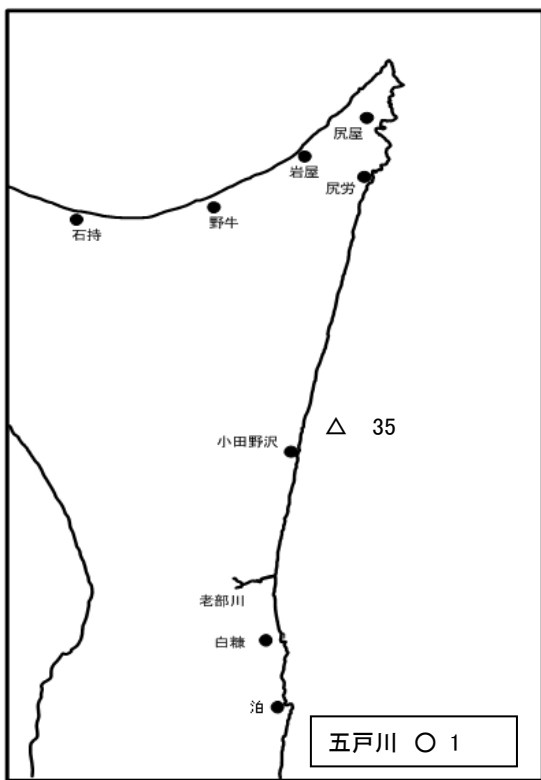
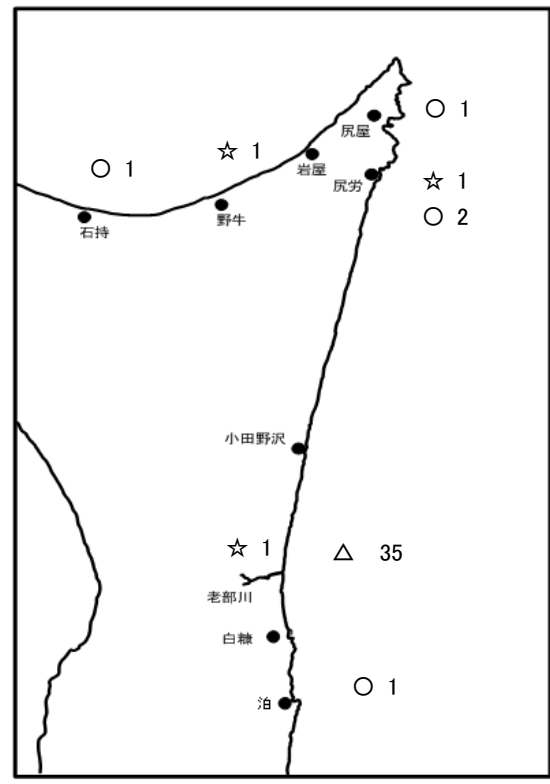
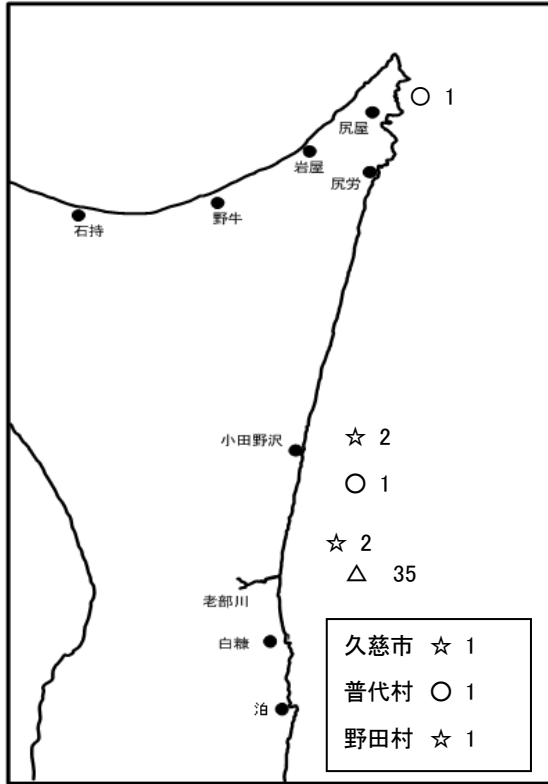
2014年漁期のサケ沿岸漁獲尾数は青森県全域で112万尾（前年比98.2%）、そのうち太平洋側が77.6万尾（前年比96.3%）であった。また、白糠漁協と小田野沢漁協の合計値は11.8万尾（前年比73.1%）であった。

### 3. 標本船調査

日別入網尾数が最大となったのは12月3日であった。

### 4. 標識放流調査

標識放流した105尾のうち、10月31日放流群が9尾、11月21日放流群が8尾、12月11日放流群が1尾の合計18尾が再捕された(図1)。



青森県

△	: 放流地点 (尾数)
☆	: ㊦-再捕 (尾数)
○	: デイスクタグ再捕 (尾数)

図 1 標識放流したサケの再捕結果